

初心

2009年新春号

平成21年1月発行
年2回刊
題字/福田富一 書

<発行所>

福田富一
暮らしと政治研究所

〒321-0102
宇都宮市江曾島町98番地
TEL 028(645)5100
<http://www.tomikazu.com>

誇れるふるさと栃木へ

栃木県知事 福田富一



牛のごとく着実に

初春を迎えて

皆様あけましておめでとうございます。

昨秋は、皆様方の誠に力強いご支援により、お陰様で知事として二期目の県政を担わせてもらえらることとなりました。しかし「嬉しさ三分、責任の重さ七分」と申し上げましたが、新年を迎え、改めて使命と責任の大きさに身の引き締まる思いであります。職員とともに、より一層県勢の発展と県民サービスの向上に努めて参りますので、本年も宜しくお願い致します。

ところで、高村光太郎の詩に長文の「牛」があります。

牛はのろのろと歩く

で始まり

牛は平凡な大地を歩く

で終わりますが、

牛はがむしゃらではない

けれどもかなりがむしゃらだ

邪魔なものは二本の角にひっかける

牛は非道をしない

牛はただ為たい事をする

自然に為たくなる事をする

未来を明らかに予感する

といったフレーズがあります。

未来を予感し、やるべきことを、時にはがむしゃらに立ち向かって行きたいと思えます。

さりとて、世界的不況が一向に押し寄せ、あつと言う間に行

く手を遮られてしまった今日、

大幅な税収減とどこまで続くか

判らないぬかるみ状態に直面し

ております。でもへこたれてい

る訳には参りません。

新年の挨拶に來られた大企業

の工場長は「景気の回復をただ

待つだけでは生き残れません。

輸出産業としては為替レートの

損益分岐点を今の一〇五円程度

から八〇円台でも収益が見込め

る仕組みに一刻も早く転換すべ

く、最大限の努力中です」と決意をみなぎらせておられました。

我々も、悪条件の中にあつても、県民の皆様がどこでも安

全で安心に暮らすことができる

ような栃木づくりを目指して参ります。

平成二十一年度の県政経営の

基本方針は、既に公表したところ

であります。各々三つの重

点施策と重点テーマにしっかりと

肉付けをし、成果を上げるべく

取り組んで参ります。

まず、重点施策の「災害への

対応」では、災害時の拠点とな

る県有施設や県立学校の耐震化

や救急医療体制の構築。「多様

化する児童問題への対応」では、

児童相談所の体制強化、被虐待

児や発達障害児等に対する心の

ケア体制整備や特別支援学校の

施設・機能の充実。「県民文化

の継承及び創造への取組」では、

多彩な文化の振興や新たな県民

文化の創造の推進。

重点テーマとしては「団塊世

代に着目した「とちぎ」の元気

づくり」や「ブランドに着目し

た誇り輝く」とちぎ「づくり」

については継続して取り組む他、

新たに県民誰もが参加できる温

暖化対策や低炭素社会に向けた

新たな仕組みづくりなど「地球

と人にやさしい「エコとちぎ

づくり」を進めて参ります。

これまで以上に県政の舵取り

役をしっかりと努めて参ります。

どうぞ宜しくお願い致します。

祝 J2昇格

栃木SC、悲願のJ2

さらなる飛躍を

栃木SC(新井賢太郎

社長)のJリーグ2部

(J2)加盟を審査する

Jリーグ臨時理事会が12

月1日、東京都内のJF

Aハウスで開かれ、栃木

SCが来季からJ2に昇

格することが全会一致で

承認された。2000年

にJFLに昇格して9年、

J2昇格を目的に株式会

社化して2年半。関東地

方で唯一空白県だった栃

木県にも、悲願のJリ

グチームが誕生した。

昇格会見で新井社長は

「一人でも多くの県民の

方にサッカーを見てもら

い、喜んでほしい。子供

たちに夢を持たせたい」と

抱負を語った。その後、

佐藤悠介主将らと知事を

表敬訪問。知事は「待ち

に待った新たなスタート

ファンの期待は高い。J

2で思う存分暴れてほし

い」と激励した。



J2昇格を決めた栃木SCの新井社長(右)と知事

県民に夢と希望を

福田県政2期目スタート

11月16日投開票の知事選で再選を果たした福田富一知事は18日、県庁に初登庁し、実質的な2期目のスタートを切った。

福田知事は午前10時20分、公用車で県庁前に到着。約500人の職員、県議、県民らの拍手の中、女性職員から花束を贈られた福田知事は玄関前で「内外ともに厳しい情勢だが、県民の力を結集し誇れる栃木づくりを進めていきたい」と挨拶。

この後、県幹部職員120人を前に「景気後退による県税収減の厳しい財政の中でも、県民に夢と希望を与

財政健全化計画策定へ

福田富一知事が初登庁

「前期の4年に比べはるかに責任が重い。県民のみなさん、議会、職員と力を合わせこの難局を乗り越えたい」と語った。

早速に取り組むべき課題の一つに県財政の健全化を挙げ「来年度のできるだけ早い時期に具体的なプログラム(対応方針)を発表したい」と述べた。

午後からの記者会見では「前期の4年に比べはるかに責任が重い。県民のみなさん、議会、職員と力を合わせこの難局を乗り越えたい」と語った。



再選後初登庁し、職員から花束を受け取る福田知事

LRTなどで意見交換

とちぎ元気フォーラム in 帝京大学

福田富一知事が県政の課題などについて話し合う「とちぎ元気フォーラム(大学版)」が7月5日、宇都宮市豊郷台の帝京大学宇都宮キャンパスで開かれた。学生を対象にしたフォーラムは年1回開催しているが、今年は帝京大、文星芸術大など5大学・短大が参加。今回はさらに宇都宮北高など4校の高校生も初めて参加し、計約140人が知事と直接意見交換した。

参加者からは、伝統工芸や次世代型路面電車(LRT)、医療福祉など幅広い分野からの発言が相次いだ。LRT導入について福田知事は、二酸化炭素排出量が全国でも最多レベルの県の状況について触れ「LRTは地球環境にも優しく、中心市街地の活性化にもつながる。導入の可能性を探って、導入できるものならしていきたい」と述べ、計画推進に改めて意欲を示した。



約140人の高校・大学生の前で話す知事



開所式で表札の除幕をする福田知事(右から2人目)

新品種開発に期待

いちご研究所開所

イチゴ生産量日本一を誇る栃木県は、「とちおとめ」に代わる新品種開発を目指すため、イチゴを専門に研究する全国初の「いちご研究所」を栃木市大塚町に開設し、10月6日開所式が行われた。イチゴの総合的な研究拠点として「より実が大きく、甘く、病気にも強い品種を」を合言葉に、品種改良に取り組む。1996年に品種登録した

「とちおとめ」の登録期間(15年間)が2011年に切れ、国内外で自由に生産ができるようになるほか、他県で新品種が相次いで登場し、産地間競争も激化しており、生産者から「ポストとちおとめ」を望む声が強まっていた。

開所式で福田知事は「『イチゴ王国』の座をこの先50年、100年と揺るぎないものにしていくため品種開発に取り組んでいく」と宣言した。

消費者行政相と意見交換

全国知事会

野田聖子消費者行政担当相と全国知事会の意見交換会が8月29日、東京都千代田区の都道府県会館で行われ、福田知事を含む4県の知事が出

席。冒頭の挨拶で野田氏は「消費者庁はあくまで司令塔。肝心要の地方に頑張ってもらいたい」と協力を求めた。

全国知事会の代表として福田知事、堂本暁子千葉県知事、古田肇岐阜県知事、飯泉嘉門徳島県知事が出席。

福田知事は、消費者からの苦情や問い合わせを受け付ける消費者相談員の確保が難しいことを指摘。相談員の講習を首都圏だけでなく地方でも開催してほしいと求めた。

意見交換会終了後、福田知事は「今後も国の取組み状況を見ながら、意見を伝えていきたい」と述べた。

このページは、下野新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、東京新聞、日本経済新聞、の記事を抜粋させていたたきました。

県緊急経済対策63億円

中小企業支援に重点

福田知事は11月26日、世界的な金融危機のあおりで県内経済が急速に悪化していることに対応するため、自らを本部長とする「県緊急経済対策本部」を設置し、総額63億7200万円の緊急経済対策を発表した。知事は会見で、「県内企業の多くが資金繰りに不安を抱え、雇用面もさまざまな問題が生じている。現時点で県としてできるものは網羅したと思う」と説明した。

県独自の対策のうち、制度融資を拡充・強化する「中小企業の資金繰り対策」、失業者向けの「緊急雇用対策」、「中小製造業の受注確保対策」

企業への資金支援を要請

知事は12月9日、足利銀行の藤沢智頭取と栃木銀行の小林辰興頭取を訪問し、年末年始に向けて企業の資金需要が高まることから、中小企業の資金繰りに配慮し、円滑な資金提供を行うよう要請文を手渡した。

新生足利銀行スタート

7月1日、平成15年11月に破綻し、一時国有化されていた足利銀行が、野村ホールディングス系グループ傘下で約4年7ヶ月ぶりに地域に密着した金融機関として再出発した。



福田知事に就任あいさつをする足利銀行の藤沢智新頭取(右)

子育て支援策共通化提案

5県知事会議

栃木、群馬、茨城、新潟、福島、5県の知事による「第5回北関東磐越5県知事会議」が7月28日、群馬県庁で開かれ、福田知事は、本県を含む4県(栃木・茨城・群馬・福島)で実施している子育て世帯向けの優待サービス事業について「足利市などは群馬県の店舗の利用者も多い。どの県でも使えるように共通化の可能性を探れないか」と提案。協議の結果、本県で来年開催する同会議をめどに検討を進めることになった。



北関東磐越5県知事会議であいさつする福田知事

県スポーツ功労表彰

北京五輪入賞5選手

県は10月28日、北京五輪で8位以内に入賞した県勢5選手を県スポーツ功労者として表彰した。表彰式には、悲願の初優勝を飾った



表彰式後、染谷(中央)が北京五輪で獲得した県勢32年ぶりの金メダルを手にする福田知事と山崎(左)

ソフトボールの染谷美佳(白鷗足利高・デンソー)、陸上男子5000メートル競歩で日本人初の7位入賞を果たした山崎勇喜(さくら市在住・長谷川体育施設)らが出席。福田知事は両選手と代理出席の親に「オリンピックで我が国の選手として優秀な成績を収め、広く県民に希望と活力を与えてくれた。その偉業は県民の誇りである」と賞状と記念品を手渡した。染谷は「自分のできることはやった。いい経験をさせてもらった」と振り返った。その他の授賞者は次の通り。▽サッカー女子4位安藤梢(宇女高浦和レッズ)▽野球4位成瀬善久(桑中・千葉ロッテ)▽卓球女子団体4位平野早矢香(鹿沼市出身・ミキハウス)



7月30日大阪毎日放送主催のイベント「オーサカキング」に出演し、栃木県をPRする福田知事(左)

東奔西走の日々

- ◇7月4日 都賀町立赤津小視察／現場での指導の困難さ改めて認識。
- ◇7月7日 三者懇談会／足銀対応で「新中期計画に注目したい」と知事。
- ◇7月12日 とちぎ元気フォーラム in 日光／「限界集落支援の仕組み検討」
- ◇7月15日 図上訓練／「組織で災害対応力の向上に努めてもらいたい」と訓示。
- ◇7月17日 横浜市で全国知事会議
- ◇8月15日 とちぎTV「イブニング6」に出演／県内農業のすばらしさを訴える。
- ◇8月18日 金融庁訪問／茂木敏充金融・行革担当相の大臣就任を祝う。
- ◇8月20日 那須・南那須地区ブロック別市町村長会議
- ◇8月31日 日光市所野で総合防災訓練／県庁屋上へリポートから防災ヘリ「おおるり」に乗り込み現地入り。
- ◇9月12日 「交通安全の火」分火式
- ◇「安全な郷土づくりに協力して頂きたい」と挨拶し、炬火台に点火。
- ◇10月3日 全国障害者スポーツ大会結団式／手話を交えて激励。
- ◇10月9日 都内で県産銘柄牛懇談会／「実力あるが知名度低なのが本県。知名度アップに力を貸して」と挨拶。
- ◇10月15日 県と仏ヴォークリューズ県、友好交流協定締結／「両県の新しい時代の幕開けとなった」と挨拶。
- ◇11月18日 再選後初登庁
- ◇11月20日 日光市小来川／県道小来川文挟石那田線、山口橋の開通祝う。
- ◇11月25日 東京のJFAハウスで鬼武健二チエアマンと会談／増資達成と支援継続を報告し「朗報を期待」。
- ◇12月2日 都内で外資系企業誘致セミナー／「本県への進出をぜひ検討していただきたい」と呼び掛ける。
- ◇12月20日 北関東自動車道・真岡IC(桜川筑西IC間開通式)／「海を持たない栃木にとって歴史的な出来事。両県の交流の活発化を期待する」

ご支援有難うございました。

福田富一知事が再選



11/16 再選を決め、万歳する知事と福田宏一会長(右)



10/30 告示の日 足利市内で



11月18日 初登庁 正面玄関前で



快晴のもと 茶臼岳ハイキング

毎年恒例のハイキングは7月13日、23回目にして初めての那須茶臼岳へ。朝6時半、150名余は3台のバスに分乗して出発、一路那須へ向かった。ロープウェイ山頂駅から二手に分かれて、盛夏の太陽と清涼な風の中、山頂を目指した。晴々とした360度の絶景を満喫しながら思い思いの場所で持参のお弁当で昼食。心身に癒しと活力をたくわえた1日となった。

年頭のごあいさつ

福田富一後援会総連合会会長

福田 宏一

新年明けましておめでとうございます。後援会の皆様には本年もよいお正月を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、昨年の11月の知事選におきましては各地区後援会の会長をはじめ多くの皆様に格別なるご支援やご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

お陰さまで、福田富一知事は再選を果たすことが出来、今後4年間再び県のトップとして活躍することになりました。今回の知事選を総括しますと、42万6336票が多いか少ないかとなりませんが、投票率こそ32.28%で低いのですが、4年前より330票少ないだけで、雨が降ったり相手が共産党であることを考えれば、よくやった得票数であると思います。

選挙のやり方については、その準備に一年以上をかけ、県会議員の先生方を中心に旧49市町村に地区後援会を立ち上げていただき、国會議員・市長・町長・各種団体からも支持をとりつけての現職らしい組織力を活かした選挙でした。さらには、知事自ら100ヶ所以上のミニ集会を重ねていき地道な草の根運動をしたからこそ多くの人達から応援や支持を得られたものと思います。

今後につきましては後援会の役員の皆様とご相談の上、今回新しく立ち上がった49の地区後援会の維持拡大をしていき、1人でも多くの会員を獲得して、後援会をさらに強固なものにしていくたく存じますので、今年もさらなるご協力をお願い申し上げます。



1,500名が参加して もちつき大会

毎年12月の第1日曜日に開催されている『もちつき大会』。26回目の今年は7日、小春日和のおだやかな天候に恵まれ、家族連れなど1,500名を超える参加者の賑わいに、もちをつく人、こねる人、あんこ・きな粉・納豆・大根おろしでもちをくるむ人、漬け物を切る人など、作業の担当者は嬉しい悲鳴。大勢のご参加は、2期目当選を果たした知事への祝意と思われた。

『福田家の茶の間』

元旦、夫と共に、皇居・正

殿松の間での「新年祝賀の儀」に参列した。(写真は一般参賀の御立ち台にて) 栃木県は御用邸と御料牧場があり、皇室との御縁も深いことから、天皇皇后両陛下に御挨拶のため毎年参内。



方から頂いたメダカや、息子が置いていったグッピー、黒パグの『もも』がいる。朝新聞を取りながらメダカの水を割ってあげ、夜お互いに「餌やった?」と確認しながらグッピーに餌をあげる。『もも』は相変わずやんちゃで可愛く、言葉を良く理解する。いつも私達のそばを離れない。そんな『もも』は家族の一員であり、私達の癒しとなっている。

改めて、昨秋の知事選挙では大変お世話になりました。どこに伺っても良くして頂き、一生懸命応援して下さいました。このご恩は決して忘れません。

我が家は現在、3人の子とも達それぞれ社会人や大学生となつて家を離れており、夫婦二人の生活だが、近所の

一致団結して支援を確認

一・市会(親戚会)

第3回一・市会(親戚会)が、7月6日午前11時からアピアを会場に155名が出席して開催された。和やかな中にも、秋の知事選挙での支援を確認した集いとなった。



編集後記

11月の知事選挙では大変お世話になりました。

世話になりました。福田知事は再選後の会見で「うれしさ3分、責任の重さ7分」と話しておりましたが、県財政が厳しい中、2期目の県政運営に大きな期待が寄せられています。『初心』はこれから、知事の県政への取り組みや思い、日々の出来事などを分かり易くまとめて皆様にお届けしてまいります。ご笑読下さい。

◆福田富一後援会総連合会事務所

宇都宮市馬場通り2-11-12

電話 028(633)1111

FAX 028(633)1110

◆福田富一暮らしと政治研究所

宇都宮市江曾島町98番地

電話 028(645)5100

FAX 028(645)1124